

三重短期大学生生活科学科住居環境コース 出前授業

●開催日:2022年12月14日 / 2023年 1月18日

1年生後期の住宅設計課題への出前授業は2017年度から今回で6回目となります。2年目からは敷地や設計与件を提案し、担当教諭の木下先生と一体となって授業を続けてきています。今年度は授業指導をJIA三重地域会の出口基樹氏が担うこととなり、より地域会の主導感が増したよう感じました。例年、設計検討中に1回と作品完成時の講評に三重地域会5名が授業参加しています。学生さんは設計するのが初めてというのが大半です。私としては知識の少ない学生に、設計の自由さや多様さ、その建築を通して生活のしかたや社会の

仕組みを変えていく可能性があることを少しでも伝えられればと授業に参加しています。

こちらの知識を伝えるばかりでなく、学生さんの発想やそれぞれの関心ごと注目点が知れて、普段の仕事とは違った情報が得られます。学生さんの純粹、思うままに作った模型に本人以上に面白さを見つけられるといったことがいつも印象に残ります。今回はそれに加え3D-CADの活用について考えるきっかけとなりました。大半は手書きのスケッチで検討しているようですがCADを使う学生も居て、最近の使いやすくなった3D-CADを使え

ば、課題レベルの検討作業は格段に効率化し、手間の掛かる作図もなく複雑な平・断面図ができてきそうです。これからは課題の評価が難しくなりそうだと思うのと同時に自分の作業にも3D-CADの取入れを考えたいなりました。今回は数人、感想を寄せていただきました。少しは思いが通じているようで嬉しいところです。



服部 昌也 (JIA三重)
八武組

授業を受けた学生の感想

まささらの土地に1から家を建てる大変さを実感した課題でした。それと同時に、図面から模型まで条件の中ではありますが、自分でコンセプトを提案し、自分の感性や考えを活かした、「私だけの家」を作ることができたのが本当に嬉しいです。今回この作品を作り上げる際に、プロの建築家の方々からのエスキズ指導を受けました。この指導がより私の作品を磨き上げてくれたと思います。まだまだ未熟な私たちに、プロ目線からの適切な指導がたくさんあり、納得することばかりでした。それと同時に、自分の考えが甘いことを痛感した時間でした。疑問に思ったことを質問すると、優しく分かりやすいように教えてくださり、同時に建築の楽しさを教えてもらいました。家を建てる上で、条件の中で、自分の意見がはっきりあることが大切だと教えてもらいました。

発表当日、プロの方々から感想をいただきましたが、「あなたのその独特な感性を磨いたら、もっと良い作品ができますよ」と助言していただき、自分の感性を建築を通して理解していただいたことがこれから様々な設計をする上で、自信に繋がると思います。本当にありがとうございました。

池谷 美紅



▲中間個別指導

戸建て住宅設計の課題の中で、水回りの配置がなかなか決まらなかった為ご相談したところ、「部分的に見るのではなく広い視野で考え、いろんなパターンを提案してみると良い」とアドバイスをいただき、最初に決めた案だけに捉われないように再考した結果、今回の作品を設計する事が出来ました。

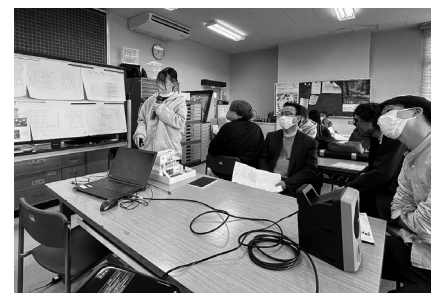
そしてなにより、実際に現場で設計されている方の指導を受けたことで、構造の規定や階段周りの空間の捉え方を新しく学ぶことができ、また一つ視野を広げる事が出来ました。

木下 雅功

今回2回にわたり、JIA三重の方々から直接ご指導いただきました。私たち学生の自由奔放な案を親身になって聞いてくださり、色々な経験を重ねてきた方々だからこそ説得力のある貴重なアドバイスもいただきました。他にも、自分のアイデアやデザインに特徴が似ている建築家を紹介して下さったおかげでより自分自身がしたかった設計が明確になり、行き詰まっていた問題も解決の手助けとなりました。

また、建物の機能性だけでなく図面についても見やすいレイアウトの仕方や、模型作りのコツも教えてくださり、とても勉強になりました。まだまだ知識不足な私たちに建築設計というものを分かりやすく教えてくださり、本当にありがとうございました。

西田 涼乃



▲作品発表・講評会